

楓蔦黄(もみじつたきばむ)

色見草(いろみぐさ) *楓(かえで)

「もみじ」は「揉み出(もみず)」が変化した言葉。草木の葉の色が揉み出されてくるという意味で、特定の木の名前ではありませんでした。それが次第に、とりわけ美しく紅葉する楓をさすようになったというわけです。

秋になると毎年のように、楓の色づき具合に注目する私たち。「色見草」という異名も持っています。うっすらと色づく薄紅葉から、濃い色、薄い色が混ざり合う斑紅葉(むらもみじ)。さらに、まばゆいばかりに照り輝く照紅葉(てりもみじ)…。昔の人は、その折々のさまざまな色合いを愛でてきたようですね。秋から冬へ、移ろいゆく色見草の色を見ながら過ごす季節です。肌寒い日々が続いていますが、みなさまいかがおすごしでしょうか。

お知らせ

- 第三回 漢字能力検定が2023年2月18日にあります。今年度最後になりますので、集大成としてチャレンジしましょう！
- 12月のお休み

2022年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7 休	8	9	10
11	12	13	14 休	15	16	17
18	19	20	21 休	22	23	24
25	26	27	28 休	29 休	30 休	31 休

※毎週水曜日は休校日です。
祝日・第5週はお休みです。

『だから 日本語・漢字！』

日常生活においても、入試や就職等ここぞ！という大事な場面においても、適切な“コミュニケーション”を図るためには、日本語・漢字の力が欠かせません。

* 言葉の意味がわかると文章や会話の内容がスムーズに理解できる

* 語彙が増えると表現の幅が広がる

* 言葉のひきだしをたくさん持っている相手や場面に応じた適切な表現ができるようになる

…漢検はそんな“コミュニケーション力”の土台になる語彙を、効率よく身につけられる検定です。普段の生活だけではなかなかあえない語彙にも、漢検の学習を通してであうことができます。

そうして身についた「言葉の力」は、今後もずっと、様々な場面で役立つ「自立して生きる力」のひとつになります。

